

### 吹奏楽コンクール県大会で中学銀賞・高校金賞！

◆今号の記事は、吹奏楽部顧問の細井先生が書いてくれました。

8月10日（土）、12日（月）、ザ・ヒロサワ・シティ会館（旧県民文化センター、水戸市）にて茨城県吹奏楽コンクール県大会が行われました。本校吹奏楽部は、中学校B部門と高校B部門に出場しました。

**中学校B部門**では、松下倫士作曲「哀歌『佐渡情話』の物語によるバラード」を演奏しました。佐渡島の娘と他国の男性の悲恋を描いた民話「佐渡情話」をもとにした、大変情熱的な曲を情景が思い浮かぶように工夫して演奏しました。中学校B部門に出場した3年生は5名でしたが、一生懸命メンバーをまとめながら練習しました。楽器を始めたばかりの1年生も随分上達したのがわかります。本番での演奏は、自己ベストの演奏であったと思います。結果は銀賞で代表にはなれませんでした。メンバーの成長を感じられた大会となりました。

**高校B部門**では、保科洋作曲「復興（2015年改訂版）」を演奏しました。冒頭の緊張感あふれる音楽、複雑な演奏の中盤を経て、後半は美しいメロディーが希望を感じさせるという構成になっており、曲のテーマが形を変えて最後まで受け継がれていく、大変壮大な曲です。今回のメンバーのうち、4年生は県南地区大会翌日からニュージーランド語学研修に2週間参加し、帰国5日後が県大会でした。4年生が不在の2週間は約半分のメンバーで練習をし、一人一人の音色を磨いたり、曲の研究をしたり、音をブレンドさせたい箇所を一覧表にしてチェックしていったりと、5年生が中心となって活動していきました。4年生と合流した後も、1年生から5年生までが意見を出し合って、よりよい音楽を作っている様子がみられました。まさにAL型部活動といえます。今回は金賞で県代表となることができ、最優秀団体に贈られる朝日賞を受賞することができました。9月14日（土）千葉県文化会館で行われる東関東吹奏楽コンクールに向けて、部の合い言葉でもある「心をこめて音にする」ことができるように練習していききたいと思います。

